

ICC PROJECT MEMBER'S “NEW YEAR'S MEETING 2018”

ICCプロジェクトメンバー（ICC OB含む）による新春プレゼンテーション
2018年の取り組みを披露！縁起物のクリエイター新年交流会

ICCプロジェクトメンバーは現在69組、322名。
札幌から生まれた様々なプロジェクト。このユニークな実績や取り組みを披露します。刺激的なプロジェクトに出会い、2018年 新たな年の門出を祝いませんか！？

ゲストスピーカーには、ICCエグゼクティブ・プロジェクト・リーダーの竹内宏彰氏（アニメプロデューサー）、マイケル・アリアス氏（映画監督）ほかを予定しています。映像・音楽・IT・ゲーム系クリエイターや企業、学校や行政関連の方、ご参加される方の業種は問いません。未来のイノベーションに関心のある方、是非ご参加ください。当日は参加者を交えた新年名刺交換会も行います。

1月19日（金）
17:00 - 19:00



竹内宏彰氏（アニメプロデューサー）



マイケル・アリアス氏（映画監督）

CREATIVITY X INNOVATION = INSPIRED

日 時：1月19日(金) 17:00～19:00 (開場:16:45)

会 場：インタークロス・クリエイティブ・センター<ICC> 1F Cross x Garden (札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1)

ゲスト：竹内宏彰氏（アニメプロデューサー） マイケル・アリアス氏（映画監督） ほか予定

進 行：久保 俊哉（ICC チーフコーディネーター）

参加費：無料(要予約)

▶ 予約申し込み: URL: <https://business.form-mailer.jp/fms/9f7e4e4680484>



【お問合せ】 インタークロス・クリエイティブ・センター事務局 (土日、祝を除く 9:00~17:00)

〒003-0005 札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1

TEL: 011-817-8911 FAX: 011-817-8912 E-mail: info@icc-jp.com URL: <http://www.icc-jp.com>

主催:インタークロス・クリエイティブ・センター <(一財) さっぽろ産業振興財団 >

SCHEDULE : 式次第

16:45~ 開場

17:00~ Start

-ゲスト新春スピーチ (クリエイティブ最新情報)

-クリエイター紹介 (90秒プレゼンテーション)

-ゲストコメント

-名刺交換会・交流会

Inter×cross Creative Center

▼ ゲストプロフィール：竹内宏彰 (Hiroaki Takeuchi) / アニメプロデューサー



(株)テイク・ワイ代表取締役社長、金沢工業大学客員教授、一般社団法人国際声優育成協会理事
慶応義塾大学商学部卒業後、週刊ヤングジャンプの契約プロデューサーを勤め、1984年に(株)シンク設立。
アニメやコミックのデジタル化を行う。1998年に(株)コミックス・ウェーブ設立。
同社は新海誠監督「ほしのこえ」、「雲の向こう、約束の場所」、YAMATOWORKS制作「カクレンボ」など
多数のオリジナルアニメを発売。2002年に「アマトリックス」のプロデューサーを務め全世界で大ヒットとなる。最新作は本年3月発売予定Xbox360用「NintyNineNights」のCG映像を日本初のフルHDクオリティで製作。現在、ハリウッドと複数のアニメプロジェクトを進行中。

数多くの映像・アニメ作品をプロデュース。文化庁メディア芸術祭大賞、MMCAマルチメディアグランプリを始め、世界最高峰の
広告コンクールCLIO AWARDSなど、国内外の数多くの受賞歴を持つとともにハリウッドやヨーロッパなど海外との映像共同製作の
先駆けとなる。

伊藤忠商事、SEGA、大手広告代理店ADKなどと共に、知財関連企業を複数創業。(株)マーベラス(東証一部)株式公開時には役員を
務めるなど、ライセンスビジネスからITコンテンツまで様々な分野での事業実績も持ち、現在も民間企業3社の顧問を務めるとも
に、NTTグループ、ソニー、政府関係のコンサルティングを行う。小泉政権時代には内閣府の「21世紀ビジョン」委員を務め
「クールジャパン政策」や「国際競争力政策」に関与。石原慎太郎(元)都知事とは東京都支援若手人材育成事業を行う。
インタークロス・クリエイティブ・センター(ICC)とは2001年からの関わりで、現在、エグゼクティブ・プロジェクト・リーダーを
務めている。

▼ ゲストプロフィール：マイケル・アリアス (Michael Arias) / 映画監督



マイケル・アリアスの映画製作経歴は、ロサンゼルス・ドリーム・クエスト・イメージ社のモーションコント
ロール部より始まる。そこで、彼は「アビス」(監督：ジェームズ・キャメロン/1989)および「トータル・リ
コール」(監督：ポール・バーホーベン/1990)のようなエフェクトを多く使った映画のカメラ助手を務める。
ニューヨークのアニメーションスタジオ、ブロードキャスト・アーツ(ピー・ウィーズ・プレイハウス)に一時在
籍した後、マサチューセッツ郊外に移り、監督ダグラス・ランブルの下、ユニバーサル・スタジオのシュミ
レーション・アトラクション、「バック・トゥ・ザ・フューチャー・ザ・ライド」のモーション・スーパーバイ
ザーとして翌年を過ごす。

その後、日本に渡り、1年ほどイマジカの特撮映像部でモーション・コントロールカメラワークに従事した後、翌年、ゲーム大手ソ
フトウェア会社セガにて1993年のSIGGRAPH エレクトロニック・シアターで上映された「メガロポリス・トーキョー・シティー・
バトル」の共同監督を務める。

その後、ニューヨークへ移り、映画タイトルで注目を浴びたデザイナー、バルスメイヤーとエヴェレットと共にシジジー・デジタル・
シネマを設立。映画、「エム・バタフライ」(監督：デビッド・クローネンバーグ/1993)、「クルックリン」(監督：スパイク・リー
/1993)、「未来は今」(監督：ジョエル・コーエン/1994)、「プレタ・ポルテ」(監督：ロバート・アルトマン/1994)、および「ク
ロッカーズ」(監督：スパイク・リー/1995)などのコンピューター・グラフィックス映像を制作し、数々の賞を獲得。

のち、制作業界をあとにし、コンピューター・アニメーション大手ソフトウェアメーカー・ソフトイマージ社に入社。手描アニメ
ーションとコンピューター・グラフィックスを組み合わせることに特化したソフトイマージ・トゥーン・シェイダーを開発、特許取得。
映画に他とは異なった独特のヴィジュアル感を加えるため、ドリームワークスやスタジオ・ジブリのアニメーション・スタッフと共
に、「もののけ姫」(監督：宮崎駿/1997)、「プリンス・オブ・エジプト」(監督：ブレンダ・チャップマン/1999)、「ザ・ロー
ド・トゥー・エルドラド」(監督：ビボ・ベグロン/2000)に携わる。1999年文化庁メディア芸術祭 デジタルアート部門 優秀賞
をはじめとする数多くの賞を受賞した作品「鉄コン筋クリート」(監督：森本晃司/1999)パイロット版の制作では自ら開発した
トゥーン・シェイダーを採用し、CG監督を務める。

ここ3年では、ワーナーブラザーズの「マトリックス」を題材としたアニメーション集、「アマトリックス」において、ストーリー
の編集、監督の選出、アニメーション・スタッフを召集、そして2003の春の作品完成に至るまでの総指揮を務めた。

また、数多くの書籍・記事にも公表され、SIGGRAPHおよびその他アニメーション産業イベント等でも講演するなど多方面に活躍。
インタークロス・クリエイティブ・センター(ICC)とは2001年からの関わりで、現在、エグゼクティブ・プロジェクト・リーダーを
務め、香港にあるコンピューター・グラフィックス営利団体(CgiG)の審査委員会に所属もしている。